

シンポジウム 明日のエネルギー社会を担う若者100名
～地域で地球で活躍するISEPインターン卒業生

ISEPインターンで得たもの、つながるもの
～ISEPインターン卒業生・現役生へのアンケート結果より

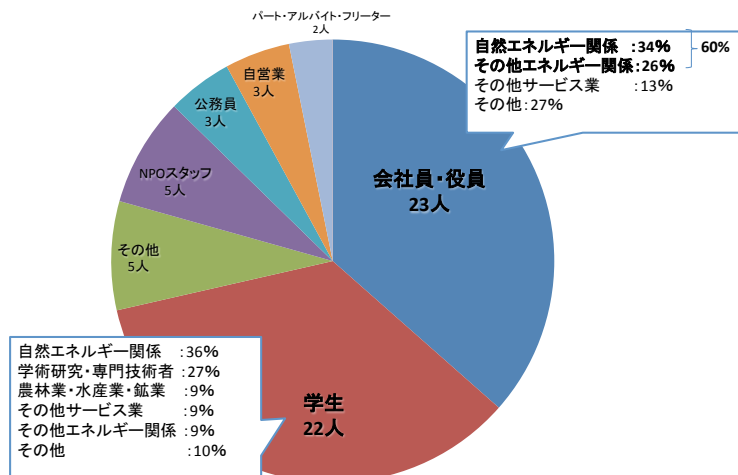
2015年5月23日



特定非営利活動法人
環境エネルギー政策研究所(ISEP)

Q1-2 現在の職業

自然エネルギー、エネルギー関係の会社員や役員や学生・研究者
がどんどん増えています。



アンケートの概要

■ 2003年～2014年までのISEPインターン卒業生・現役生126名(うち海外出身者17名)にアンケート依頼を送付

■ 回答数:63件(5/21時点:回答率50%)

※2001～2005年インターン8名、2006～2010年インターン13名、2011年以降42名

■ アンケート内容

1. 現在の状況
2. インターン当時の基本情報
3. インターンの経験がその後のキャリアで活かしたか
4. これからのインターン生へのメッセージ

■ この資料では、アンケート結果の一部を抜粋して紹介しています。

Q2-1 インターンを始めた時の所属大学(大学院含む)

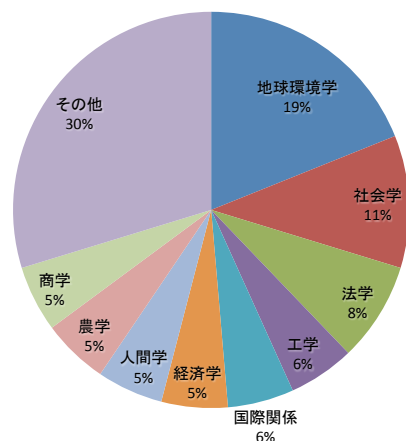
あくまでアンケート回答者の所属ですが、京都大学(地球環境学舎)や桜美林大学はインターン制度で提携している数が多くなっています。

7名	京都大学		
6名	早稲田大学		
4名	立教大学		
2名	東京大学	千葉大学	慶應義塾大学
	大阪大学	桜美林大学	東京農工大学
1名	学習院大学	名古屋大学	国際基督教大学
	創価大学	武蔵工業大学	横浜国立大学
	中央大学	東京都市大学	法政大学
	放送大学	Universidad de Lleida (スペイン)	その他多数

インターン開始時点での関東居住者が86%、特に東京が55%ですが、関西や九州からも来ています。海外からも4人。

Q2-1 インターンを始めた時の学部

様々な学部の学生が出会い、業務や活発な議論を楽しんでいます。

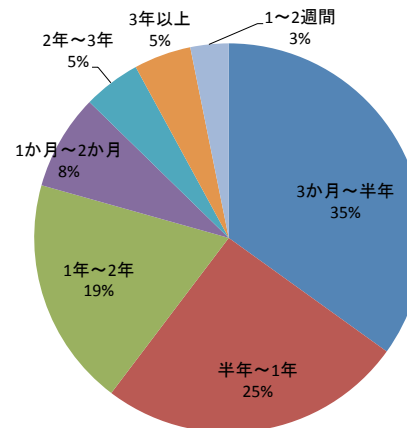


インターンを開始した学年別にもみると、修士1年が36%、学部3年が31%、学部4年が13%。

5

Q2-4 インターンの期間

1年以内の方も多ですが、1年以上の方も約30%います。

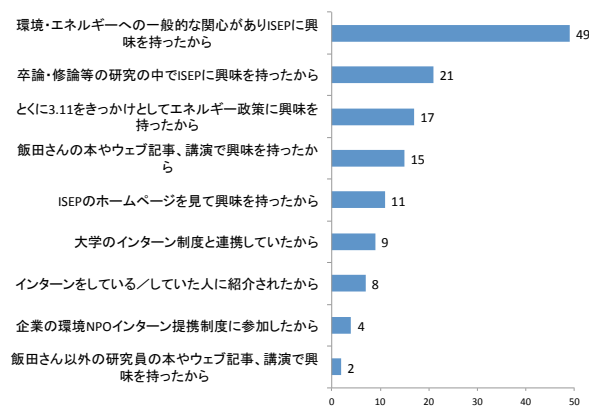


参加頻度は、週1～2回が38%、週4～5回が32%、週2～3回が17%、夏季休暇や冬期休暇が10%

6

Q2-6 インターンを始めたきっかけ(複数回答あり)

2011年以降は、3.11をきっかけとする方が増えています。



その他:「所属していた研究室がISEPと共同研究を開始したから」
 「大学で環境教育を研究していく上で、環境政策の視点も学びたいと思ったため」
 「新潟市の勉強会(飯田さんの講演)に参加し、ご当地エネルギーを新潟でもやる運びとなったことをきっかけに。」

7

Q2-7 インターン中の仕事内容

政策提言・事業立上げ・イベント運営の補助、出版物の翻訳、調査補助、官公庁との仕事など様々あります。

項目	回答(抜粋)
政策提言・事業立上げ・イベント運営の補助	FITの経産省・国会の委員会傍聴/関係者ロビイング
	G8サミットNGOフォーラム(洞爺湖サミット時)やローカル自然エネルギー・気候政策東京会議のサポート
	新潟でのご当地エネルギーの立ち上げ
出版物関連	ISEPの出版物や報告書の校正作業、自然エネルギー世界白書翻訳
調査補助	3・11後の全国の自治体のエネルギー関連条例の変化の調査
	北九州市、東京都の環境エネルギー政策調査(文献、シンポジウム、ヒアリング)
省庁や自治体の業務関連	農林水産省業務委託事業の運営
	宝塚市の指針作成補助事業
	行政との打ち合わせに同行(その後、行政でのアルバイトに発展したケースも)

8

Q2-8 印象に残っている経験

業務補助や、普段会えない方との遭遇、インターン同士の交流が多く、その他に所長やスタッフとの印象的な会話なども挙げられました。

項目	回答(抜粋)
政策提言・事業上げ・イベント運営の補助	国会エネ調のお手伝い時、国の中心となる人たちとのエネルギーに関わる議論を間近に聞いて、所長のすごさと、何も知らずにこのISEPに関わった自分に驚いたこと。
普段会えない方との遭遇	国会エネ調で、河野太郎さん、阿部知子さんなど代議士がいたこと。エリックさんや向井理がオフィスに来たこと。 原子力経済政策研究会で、飯田さんや吉岡齊先生といった著作等でも学ばせていただいていた第一人者の方たちと、ご一緒させていただいた。 原子力カムラの中の人々の考えや思いを表面的にも内面的にも知ることができたこと。
インターン同士の交流	お酒の席でインターン仲間が、それぞれの研究や取り組み、気持ちを語ってくれたこと。
飯田さんとの思い出	大学での研究内容を発表した際に所長から厳しいコメントを頂いたが、その後の糧になった。

9

Q3-2 インターンの経験の中で、今の仕事に役立っていること

自然エネルギー関連の知識やネットワークが最多で、次いで社会人スキルが多く、研究に役立ったという意見もあります。

項目	回答(抜粋)
自然エネルギー関連の知識やネットワーク	持続可能なエネルギー社会に向かうための包括的な知識／土地感覚／地図、自然エネルギー業界、研究者や国会議員のネットワーク。 地域自然エネルギー事業のネットワークは現在もフル活用しています。
社会人スキル	政策の読み方などが身に付いた。 日常の業務から、自らが能動的に働きかければその分だけ様々なチャンスに繋がるということを学んだ。 (金融専門の弁護士になったため、)直接的に進路に影響を与えることはなかったが、調査業務は役に立っている。(海外インターン)
研究関連	環境分野で研究を続けていこうと決心しました。 仕事ではありませんが、卒論で自然エネルギーと社会学について書こうと決めました。
その他	霞ヶ関の中央官庁に気軽に行けるようになりました(気負いなく行けます)。

11

Q3-1 その後のキャリアへの影響

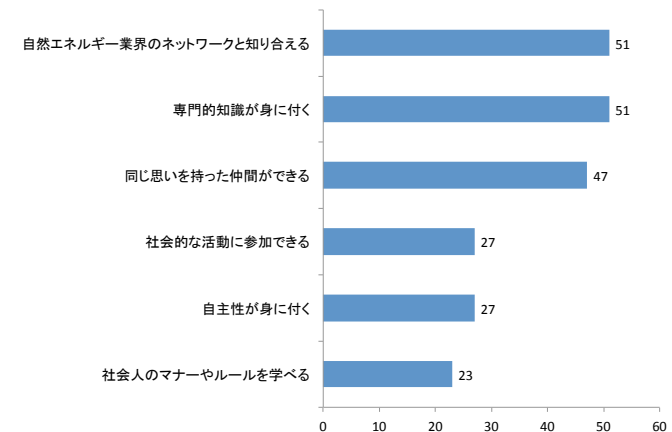
自然エネルギー業界に進んだ方が多く、他業界に進んだ人、学術系の進路を選択した方もいます。

項目	回答(抜粋)
自然エネルギー業界	NPOやISEPの存在意義を感じ、ISEPのスタッフになりました。 新卒の就職先は他業界でしたが、転職して自然エネルギー業界に戻った。 良い意味で、自然エネルギーの世界から抜けられなくなったと思う。 調査方法など、学んだことを十分に活かすことができる自然エネルギーの仕事を都内で見つけることができた。(海外インターン)
他業界	現在の就職先は断熱性の高い屋根パネルを扱っており、面接の際にインターンの話も興味を持って聞いてくれました。 地域エネルギー事業に関わりながら、公務員を目指しています エネルギーの領域に関係なく成長できる環境、問題解決の思考を磨ける環境に進むほうが自分の理想を実現するためには近道だと考えました。
学術系	インターンで学んだことがきっかけで、大学院進学を決意しました。 NPOの限界を知り、研究者を目指すことにしました

10

Q3-3 ISEPでインターンをするメリット(複数回答あり)

ネットワークと知識に加え、仲間ができることを喜ぶ声が多いです。

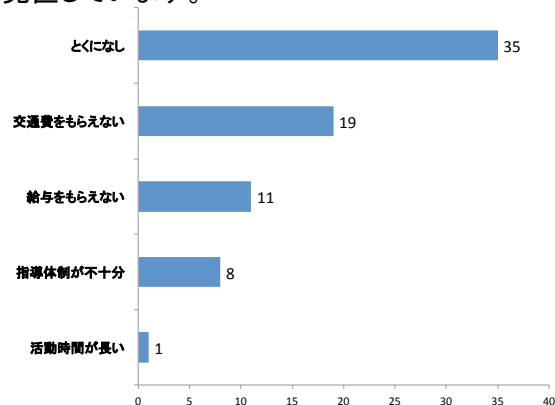


その他
・将来のキャリアを考える上で大変参考になる
* インターン満足度では、「大変満足している」が51%「満足している」が48%。

12

Q3-4 ISEPでインターンをするデメリット(複数回答あり)

「とくになし」が多いですが、交通費はポイントのようです。指導体制は毎年見直しています。



その他:

- ・ISEPの全体像が把握できていないため(スタッフ、インターンのような人たちがいて、それぞれ主に何をしているのか)ISEPの説明がうまくできない
- ・目が疲れる(PCでの作業が多いため)

13

Q3-5 その後のつながりのエピソード

業務やSNS上での繋がりを活用しての交流や、仕事上でのつながり、ISEPのイベントでの交流が多く挙げられました。

項目	回答(抜粋)
自然エネルギー関係	環境省委託業務の研修会の手伝いや、全国ご当地エネルギー協会会合に参加させていただき、各地の取り組みやキーパーソンを知ることができた。 インターンでの友人と共に、福島で開催された再エネコンテストのようなものに応募し、賞をいただいたこと。 ISEPや自然エネルギー財団のイベント・シンポジウムにたまに参加している。スタッフ主催のインターンや自然エネ関係者が集まるフットサルに参加している。
仕事上のつながり	国内のお客様の会社に、元インターンと一緒にしていた方が働いてことができました。 環境業界の人にISEPと言うと大抵知ってくれているので、話が発展する。
学業面	東京都の活動に参画した経験を活かし、上智大学へ進学することができた。 修論を書く際に、ISEPで知り合った方にデータの提供等して頂きとても有り難かった。

14

Q3-6 インターンプログラムの改善点

業務面や業務外の改善点の提案が多く、その他にも広報や待遇面での改善提案も出ています。

項目	回答(抜粋)
業務面	もうちょっと地域の現場に派遣してみてもいいかと。(海外も含めて) インターンのチームで何か仕事を任せてみてはいかがでしょう。 海外インターンが取り組める業務は限られるため、個人で関心のある特定のトピックや問題に関する研究テーマに取り組んでもらうようにした方がいいのでは。
業務外	インターンが少ない時期もあるので、より多くの学生にISEPやインターン制度を知ってもらえればインターンが増え、さらなる交流が生まれるのではないかと。 業務時間外のコミュニケーション(飲み会など)を積極的にとること。 インターンで学んだことを、その後どのように活かせるのかといったようなサポートがあるといいかもしれない。
待遇面	交通費を支給したら、近隣の学生の経済的負担がほとんどなくなるので、より頻りにインターンしようというモチベーションにつながると思う。
その他	近いアパートメントや、格安ホテルなどの情報があれば、都市外からの人も気安いかもかもしれません。

15

Q4 これからのインターン生へのメッセージ

ISEPのインターンシップで得られるものからインターンの心得、さらにもっと役立つようなアドバイスまで、色々なメッセージを頂きました。

項目	回答(抜粋)
ISEPで得られるもの	ISEPで自然エネルギーの相場感を身につけ、同じ思いを持つ仲間を見つけてください！ 想いがかたちになり、様々なところとつながる場だと思います。ぜひこの機会を生かして人生をデザインしてみてください。 インターンを通して、単なる知識ではなく、より実践に近い形で、自然エネルギーやコミュニティ・パワーについて詳しくなることができます。
インターンとしての心得	自戒の意味も込めて、しっかりと目的を設定した上で参加して下さい。漫然と参加しても私には貴重な友達が沢山できましたが、やはりインターンを充実させるには、確固たる目的を持つ事です。 自主性によって限りなく色々学び体験できると思うので、是非積極的に話す・動くようにしてください！
ありがたいアドバイス	まずはやってみることが大事かと。何事もやってみたら身につくことは大きいです。

16